

伊平屋島及び伊是名島における鳥類記録について

嵩原建二¹⁾・中村和雄²⁾・国吉修³⁾

Notes on Bird Records in Iheya I. and Izena I., the Ryukyus

Kenji TAKEHARA¹⁾, Kazuo NAKAMURA²⁾ and Osamu KUNIYOSHI³⁾

はじめに

伊平屋島及び伊是名島における鳥類の記録については、古くはOgawa (1905)、Kuroda (1925)などの報告が知られている。その後はまとまつた鳥類調査は実施されず、断片的な記録として、沖縄野鳥研究会編 (1986) やDouglasら (1996) などの報告が見られる。最近では他に両島におけるこれまでの断片的な記録をまとめて掲載した日本鳥学会 (2000) や沖縄野鳥研究会編 (2002) などの分布記録が見うけられる。また、島ごとの調査としては、伊是名島に関して比嘉 (2002) による観察記録が報告されているが、伊平屋島では新垣 (1971) や沖縄県自然保護課編 (1997) などの調査報告がある。

筆者らはこれら両島の鳥類相の把握を目的として、これまで両島から報告のある鳥類記録と数回にわたる現地調査で得た記録を加味して、両島の鳥類目録作成を試みた。本報告が両島の鳥類相を解明するつたない資料や環境学習、エコツーリズム等の資料として活用されることになれば幸いである。

なお、本報告を行うにあたり、鳥類調査に協力と便宜を図っていただいた伊平屋村教育委員会及び同歴史民俗資料館、伊是名村教育委員会及び同村立ふれあい民俗資料館、沖縄県自然保護課に対し、深く感謝します。また、鳥類の観察記録を提供していただいた伊平屋村役場の西銘真助氏、伊是名村役場の名嘉修氏、伊是名村在住の県鳥獣保護員名嘉薰氏に対し厚く感謝申し上げます。

調査地概要

伊平屋島は沖縄島の北西に所在し、北緯27度2分、東経127度58分に位置する。広さは20.59km²で、フェリーの発着する今帰仁村運天港からは41.1km、隣接する伊是名島からはわずか12.6km北方に所在し、伊平屋村は伊平屋島の属島である野甫島を合わせ2島からなる(図1)。

地勢的には東北端の田名岬から南西端の米崎まで14kmと細長いが、島の横幅はせまく、急峻な地形で、北側から田名後岳、腰岳、賀陽岳など高さ200m前後の脊梁山地が見られる(図版I参照)。島の南端の岬は米崎で、野甫島にはここから橋でつながっている。

伊平屋島は地質的には木崎 (1985) によると、新期古生界、新期中生界と第四紀系堆積物からなり、基盤の古生層は層状チャート、砂岩、緑色岩と少量の頁岩、礫岩及び石灰岩から構成され、伊平屋層と前岳層からなる。

伊平屋層は北部の弥平岩に露出し、砂岩と頁岩を主として、石灰岩レンズを挟み、この石灰岩からはフズリナが見いただされている。

中生界の田名層は島の中・南部に分布し、砂岩と頁岩の互層からなり500mの厚みがある。第四紀系の地質には、古期崖錐堆積物、砂質石灰岩、前泊層と沖積層が見られる。古期崖錐堆積物としては、島中央部田名集落の後背地に分布し、基盤石に由来するチャート、砂岩の角礫を赤褐色粘土が埋めている。

1) 〒903-0823 那覇市首里大中町1-1 沖縄県立博物館

Okinawa Prefectural Museum, 1-1, Onaka-cho, Shuri, Naha, Okinawa 903-0823, Japan

2) 〒902-8521 那覇市国場555 沖縄大学

Okinawa University, 555, Kokuba, Naha, Okinawa 902-8521, Japan

3) 〒905-0793 伊平屋村字我喜屋251 伊平屋村役場

Iheya Vill., 251, Gakiya, Iheya Vill., Okinawa 905-0793, Japan

前泊層（段丘堆積物）は島の平野部周辺山麓に標高10~20mの平坦面をつくって分布する。

砂質石灰岩は伊平屋島の南にある野甫島に分布し、補有孔虫・サンゴ・二枚貝・石灰藻を多量に含む。沖積層は島の沖積平野前面に形成される砂丘の後背湿地に見られ、上位が中~粗粒の砂層と下位はシルト~粘土層が広がり、その中に枝サンゴ破片や貝殻片を含む海成粘土層とされる。

森林植生は沖縄島北部と同様のイタジイが優占するシイ林となっている。また、島の北側には田名集落に隣接して、県内でも有数な湿地である田名湿地が広がっている。

土地利用としては、島面積のほぼ半分にあたる11.79km²が山林によって占められ、次にサトウキビ栽培を中心とする畑地が2.84km²、原野が2.86km²、水田1.33km²と続く。この中で畑地や水田は海岸近くや山間の低地に開かれている。

集落は海岸近くの平地に形成され、北側から田名、前泊、我喜屋、島尻、そして、野甫島に野甫の5つの集落がある。島の人口は昭和30年代には4千人を超える時期もあったが、今日では減少傾向にあり、世帯数555世帯、人口1,633人である（平成13年8月現在）。

一方、伊是名島は伊平屋島の南側に所在し、広さ14.12km²で、他に具志川島、屋那覇島、降神島の属島を有し、伊是名村全体の総面積は15.30km²である。伊是名島は伊平屋島に比べ平坦で、島中央でも標高119.6mほどの台地状の山地部が南北にはしり、ここを分水嶺として、ゆるやかな勾配で海岸に至っている（図版I参照）。集落は海岸沿いに形成され、南に伊是名、西に勢理客、東に諸見、仲田、

北に内花の5つの字からなる。人口は1,895人で、港が近くの仲田や諸見での人口が多い。

伊是名島の地質は木崎（1985）によると、その基盤は伊是名層と諸見層からなり、伊是名層は層状チャートを主とする累層で、諸見層はスランプ構造を特徴とする砂岩頁岩互層と礫岩からなる。また、この層は1000mを超える厚さをもち、具志川島や屋那覇島にも分布し、層状チャートの他、砂岩頁岩の互層、変成した火成岩、石灰岩などをはさむ。しかしながら、諸見層については、詳細に解明されていない。

森林植生は基本的には沖縄島北部や伊平屋島とほぼ同じで、ギーマやタイミンタチバナ、エゴノキなどは共通して生育しているが、興味深いことにイタジイは分布していない。

島の産業はサトウキビ栽培を中心とした農業で、一部に仲田、伊是名、諸見などの海岸近くの低地には水田や田イモ栽培地が見られる（図版I参照）。また、島の西部には牧場が開設され、肉用牛の飼養もさかんである。

調査概要と方法

鳥類調査は、1986年から2002年の間に数回島に渡り現地調査を実施した（表1）。したがって、本報告は伊平屋島でのべ21日、伊是名島でのべ11日の現地調査に基づくものである。

調査の際は島全域を調査対象として、早朝から夕刻まで車両で島内をくまなく回り、鳥体や鳴き声等で確認される鳥類の記録に努めた。また、林道や農耕地、水田等で夜間調査を適宜実施し、夜行性の鳥類の確認を行った。

表1 現地調査概要

調査期日	調査地	備考（調査者等）
1986年8月1日～8月3日	伊平屋島・野甫島	嵩原
1996年11月2日～11月4日	伊平屋島・野甫島	嵩原
1996年12月21日～12月22日	伊平屋島・野甫島	嵩原
1998年2月5日～2月7日	伊是名島	嵩原
1998年10月13日～10月18日	伊是名島	嵩原
1999年9月27日～9月29日	伊平屋島・伊是名島	嵩原・中村
2000年5月4日～5月5日	伊平屋島・野補島	嵩原
2000年8月24日～8月26日	伊平屋島・野甫島	嵩原
2003年11月20日～11月24日	伊平屋島	嵩原

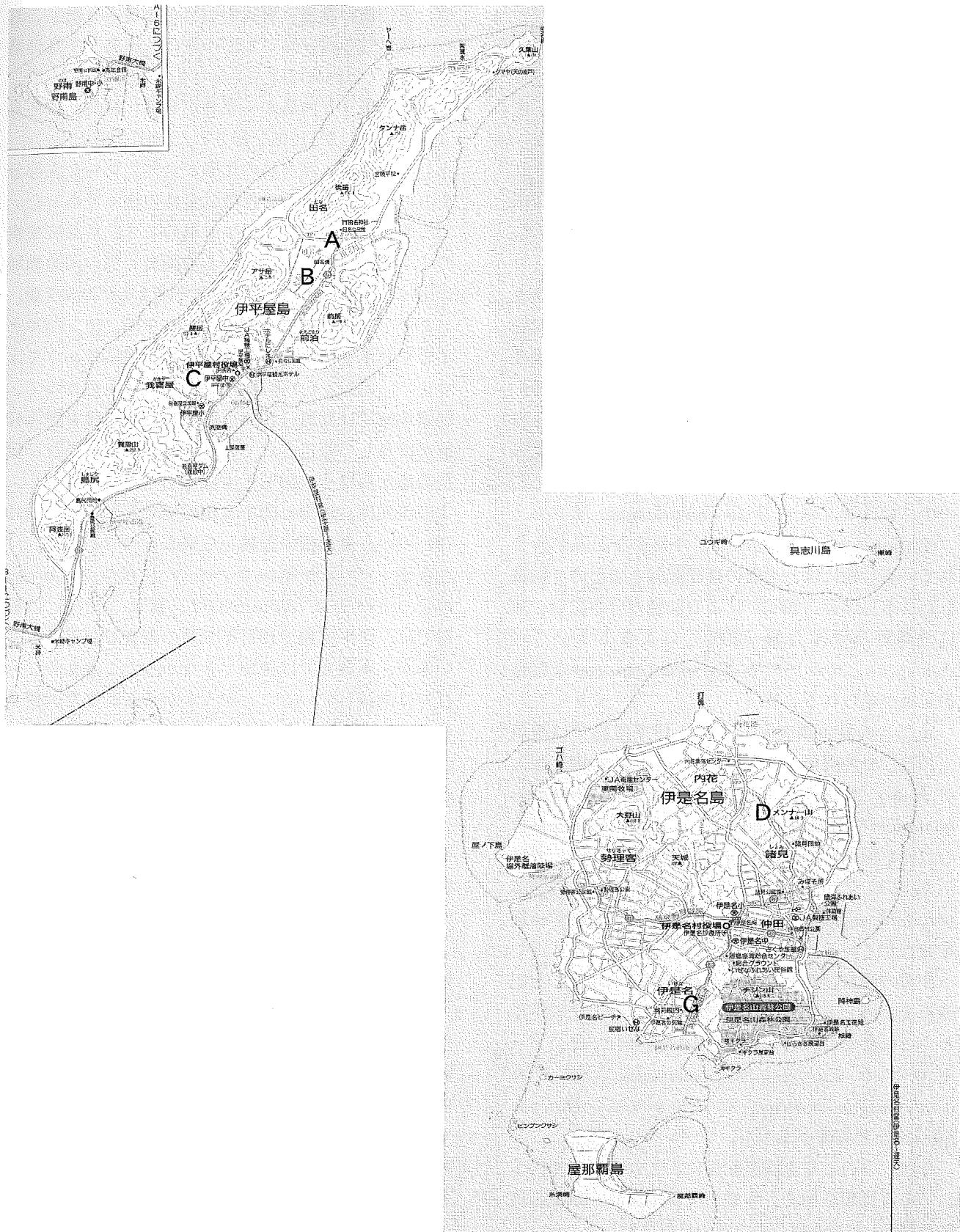


図1. 伊平屋島・伊是名島の調査位置地
(旺文社編 2000改変)
(凡例：A田名湿地、B田名水田、C我喜屋水田、D諸見水田、G伊是名水田)

調査結果と考察

現地調査の結果、伊平屋島で87種、伊是名島で80種の総計109種の鳥類を記録した(表2)。

両島におけるこれまでの鳥類記録については、古くはOgawa (1905) により、両島からリュウキュウカラスバト *Columba jouyi* の採集報告が見られる。その後、折居彪二郎氏の採集標本をもとに琉球列島の鳥類相について言及したKuroda (1925) によって、伊平屋島からリュウキュウメジロ *Zosterops japonica loochooensis* やリュウキュウカラスバトなど8種、伊是名島からは11種の鳥類記録が報告されている。しかしながら、この中から現在ではリュウキュウカラスバトがすでに絶滅している。

最近の記録としては、特にDouglasら (1996) によって作成された沖縄県産鳥類目録（暫定的な記録を含む）の中に、両島での記録種を65種掲載し、この中にはオオノスリ *Buteo hemilasius*、サンカノゴイ *Botaurus stellaris*などの希少な記録が含まれている。他には、過去の確認記録をまとめて掲載した日本鳥学会 (2000) による23種の分布記録や他に沖縄野鳥研究会編 (2002) によるトラフズク *Asio otus*、リルビタキ *Tarsiger cynurus* など鳥類記録が見られる。

島ごとの鳥類調査としては、伊平屋島では新垣 (1971) や沖縄県自然保護課編 (1997) の調査報告がある。新垣 (1971) はアカヒゲ *Erithacus komadori* やシロガシラ *Pycnonotus sinensis* を含む21種を記録し、沖縄県自然保護課編 (1997) では田名湿地を中心とした調査でカルガモ *Anas poecilorhyncha* やカワセミ *Alcedo atthis* など45種を報告している。

今回の観察記録と筆者らが過去の現地調査した記録をまとめ、上記のこれまでの鳥類記録と比較すると、これまでに報告されていない種としては、ブッポウソウ *Eurystomus orientalis*、ヨタカ *Caprimulgus indicus*、ヤマショウビン *Halcyon pileata*など47種があった。

今回、このような観察記録に、これまでに報告されている鳥類を加え、巻末の「伊平屋島・伊是名島鳥類目録」作成を試みた。その目録に示したように、両島合わせて総数が150種（亜種含む）となり、その内訳をおおよその生息区分で分けると、留鳥が24

種、帰化種が2種、現状不明種が3種あった。これらの種以外の渡り鳥としての夏鳥、旅鳥、冬鳥の飛来については両島ほぼ大差ないものと思われるため、まとめて扱うと両島から夏鳥が5種、旅鳥及び冬鳥（迷鳥含む）が116種記録された（図2）。

したがって、渡り鳥の比率が全体比78%と大部分を占めており、留鳥の種数は全体の16%であった。

この留鳥の種数は、伊平屋島のように常緑広葉樹のイタジイ林が同様に広がる沖縄島北部の国頭地域に比べると、シジュウカラやヤマガラなどのカラ類、ノグチゲラやコゲラなどのキツツキ類、ヤンバルクイナやオオクイナなどのクイナ類、他にリュウキュウサンショウクイが確認されなかった。したがって、国頭地域では嵩原 (1993) によって絶滅種を含み40種が留鳥して報告されているので、伊平屋島及び伊是名島からはその60%と少数であった。おそらく、この差異は、地史と関る鳥相の変せんと、樋口 (1979) のいう島面積の差異から来るものであろう。

なお、リュウキュウハシブトガラス *Corvus macrorhynchos connectens* は、新垣 (1971) の報告では、伊平屋島で1971年5月の調査で記録されているが、本調査では確認できなかったことから、今日では激減していることがうかがえる。また、伊是名島では2001年4月（比嘉 2002）の確認があるが、本調査では確認できなかった。したがって、両島とも本種は激減している可能性がある。

この中で以下に留鳥及び渡り鳥、帰化鳥に分け、その確認種の主なものについて希少な観察記録や特筆すべき種と思われるものについて、確認状況等について言及する。

留鳥

表3に示したように両島では絶滅種とされるリュウキュウカラスバトと外来種のアミハラ、キジを含め24種の鳥類が留鳥と思われる。しかしながら、県内で留鳥として扱われ、過去に調査記録で確認されている琉球列島固有種のアカヒゲ、アマミヤマシギ、外来種と考えられるシロガシラの3種は、現状不明として除外した。

以下に留鳥および現状不明種の中からその主な種について生息現状等について述べる。

表2 本調査で確認された鳥類

種名	伊平屋	伊是名	種名	伊平屋	伊是名
カイツブリ	○	○	キヨウジョウシギ	○	○
カワウ		○	トウネン		○
リュウキュウヨシギ	○	○	オジロトウネン		○
ゴイサギ	○	○	ヒバリシギ	○	○
ササゴイ	○		ウズラシギ		○
アカガシラサギ	○		ハマシギ		○
アマサギ	○	○	エリマキシギ	○	
ダイサギ	○	○	アカアシシギ		○
チュウサギ	○	○	コキアシジギ		○
コサギ	○	○	アオアシシギ	○	○
クロサギ	○	○	クサシギ	○	○
アオサギ	○	○	タカブシギ	○	○
ムラサキサギ	○		キアシシギ	○	○
オシドリ	○		イソシギ	○	○
マガモ	○		ソリハシシギ		○
カルガモ	○	○	チュウシャクシギ		○
コガモ	○	○	ヤマシギ	○	○
ヒドリガモ	○		タシギ	○	○
オナガガモ	○	○	セイタカシギ	○	○
ハシビロガモ		○	ツバメチドリ		○
スズガモ		○	クロハラアジサシ	○	○
ホシハジロ		○	オオアジサシ	○	
ミサゴ	○	○	ベニアジサシ	○	○
アカハラダカ	○	○	エリグロアジサシ	○	○
ツミ	○	○	コアジサシ	○	○
オオノスリ	○		カラスバト	○	
サシバ	○	○	キジバト	○	○
チュウヒ	○		ツツドリ	○	
チョウゲンボウ	○	○	カッコウ	○	
ハヤブサ		○	ホトトギス	○	
コウライキジ		○	トラフズク	○	
ミフウズラ	○	○	コノハズク	○	○
ヒクイナ	○		アオバズク	○	
シロハラクイナ	○		ヨタカ		○
オオバン	○		アマツバメ		○
バン	○	○	アカショウビン	○	○
コチドリ	○	○	カワセミ	○	○
シロチドリ	○	○	ブッポウソウ	○	
メダイチドリ	○	○	ヒバリシギ	○	
オオハクセキドリ		○	ツバメ	○	○
ムナグロ	○	○	リュウキュウツバメ	○	○
ダイゼン		○	ツメガセキレイ	○	○
タゲリ	○	○	キセキレイ	○	○

(続き)

種名	伊平屋	伊是名		
ハクセキレイ	○	○		
ビンズイ	○			
セジロタヒバリ		○		
マミジロタヒバリ	○	○		
ムネアカタヒバリ		○		
タヒバリ		○		
ヒヨドリ	○	○		
シマアカモズ	○			
ジョウビタキ	○			
ノビタキ	○	○		
イソヒヨドリ	○	○		
シロハラ	○	○		
ウグイス	○			
セッカ	○	○		
キマユムシクイ	○	○		
キビタキ	○			
エゾビタキ	○			
サンコウチョウ	○	○		
メジロ	○	○		
ミヤマホオジロ	○			
カシラダカ		○		
ムクドリ	○			
アミハラ	○	○		
合計	109	87	80	

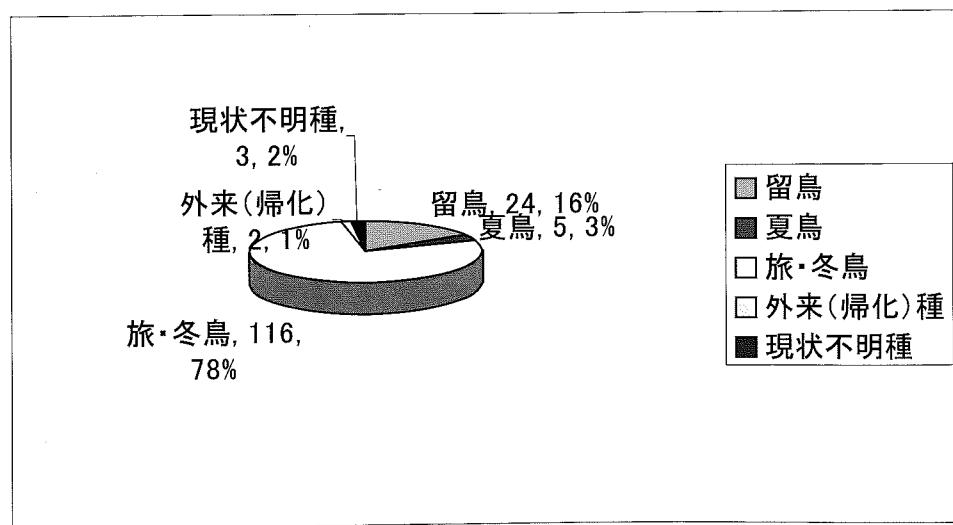


図2 伊平屋島・伊是名島の鳥類区分

1) カラスバト *Columba jouyi*

伊平屋島の腰岳や前岳周辺では見る機会が多く、鳴き声もよく聞かれた。おそらく森林地域を中心には生息しているものと思われる（写真7）。また、伊是名島の大野山でも1個体が確認された。他に2001年4月28日に勢理客北方の水田地域を飛翔する1個体が観察されている（比嘉 2001）。したがって、両島とも生息確認された。

2) ミフウズラ *Turnix suscitator*

両島で確認されたが、伊平屋島では特に数は少ないようと思える。これは同島でネズミ駆除やハブ駆除のため1953年8月にはマングースを恩納村で10頭捕獲し、各字に2個体づつ放し、1968年1月25日にはイタチを288個体放逐したことがある（伊平屋村役場 1994）。

現在ではイタチが定着してしばしば目撃されることから、本種による捕食圧がかかっている可能性がある。本種は沖縄県版のレッドデータブック（沖縄県自然保護課 1996）では希少種としてランクされ、保護すべき貴重種である。したがって、本種が伊平屋島で絶滅しないような方策をとることが望まれる。

3) ズアカアオバト *Treron formosae*

2003年11月23日の伊平屋島腰岳林道における夜間調査で巣立ち雛2個体とねぐらを取る個体が観察された（写真8）。本種は広く南西諸島に分布し、その繁殖時期は通常、春期から夏期とされているが、個体によっては11月下旬の晩秋から冬季にかけて繁殖活動を行う個体もいることが示唆された。

4) カワセミ *Alcedo atthis*

伊平屋島田名湿地とその周辺水路などでしばしば採餌のため、コンクリート護岸の上にとまっている個体が目撃された。おそらく、他の島同様河川域を中心に少數が生息しているものと思われる。

5) シロハラクイナ *Amaurornis phoenicurus*

2003年11月21日に田名湿地で若鳥が観察されたことから、繁殖していることが示唆された。沖縄島や宮古・八重山諸島ではごく普通に見られる種であるが、伊平屋島では本調査での確認地がわずか1カ所

と、その生息個体数は沖縄島に比較して少ないようと思える。

6) ウグイスの一亜種 *Cettia diphone* ssp.

2000年8月の伊平屋島における腰岳林道沿いの調査で、10個体を確認した。したがって、本種は留鳥としての繁殖個体群が生息するものと思われる。最近隣接する沖縄島に生息する留鳥のウグイスについては、梶田ら（2002）によって、大東諸島で絶滅したとされダイトウウグイス *C. d. restricta* とされるなど興味深い研究がみられる。このことから、今後伊平屋島に生息する個体群については沖縄島に生息する留鳥のウグイス同様、形態的及び遺伝的な手法によって詳細に検討されるべき余地が残っているものと思われる。なお、冬期には両島に冬鳥としての本土産ウグイス *C. d. cantans* も普通に飛来するものと思われる。

7) アオバズク *Ninox scutulata*

本島に生息する亜種はリュウキュウアオバズク *N. s. totogo* とされている（日本鳥学会 2000）。本亜種については、1997年7月に伊平屋村老人福祉施設「とらず園」のポーチ柱のそばで繁殖活動を行い、2001年6月には村営住宅の芝生の上での地上営巣が確認された。また、他にも離島総合センターのベランダや村庁舎2階のベランダ、村立体育館のベランダ等人工物での営巣確認もされ、村営住宅の芝生上を除いては何れもコンクリートの上である例も知られている。

県内におけるフクロウ類の地上営巣については、オオコノハズクで2例が知られている（嵩原1994・嵩原2002）が、本亜種の繁殖活動についてはこれまでの知見が乏しいため、その報告は見あたらない。しかしながら、本亜種もまれに地上営巣することが確認された。

漂鳥及び外来（帰化）種

1) ムラサキサギ *Ardea purpurea* (漂鳥)

伊平屋島田名湿地で1998年冬季の調査で若鳥1個体を確認した（写真9）。本種は国内では宮古・八重山諸島を繁殖分布の北限としている。したがって、県内では留鳥扱いであるが、沖縄島や本地域では繁

表3 伊平屋島・伊是名島の留鳥

種名 学名	伊平屋	伊是名	備考
カツブリ <i>Podiceps ruficollis poggei</i>	○	○	
リュウキュウヨシゴイ <i>Ixobrychus cinnamomeus</i>	○	○	
クロサギ <i>Egretta sacra sacra</i>	○	○	
リュウキュウツミ <i>Accipitaer gularis iwasakii</i>	○	○	
ミフウズラ <i>Turnix suscitator okinavensis</i>	○	○	
ヒクイナ <i>Porzana fusca phaeopyga</i>	○	○	
シロハラクイナ <i>Amaurornis phoenicurus chinensis</i>	○	○	繁殖未確認
バン <i>Gallinula chloropus indica</i>	○	○	
シロチドリ <i>Charadrius alexandrinus nihonensis</i>	○	○	
リュウキュウキジバト <i>Streptopelia orientalis stimpsoni</i>	○	○	
リュウキュウズアカアオバト <i>Treron formosae permagnus</i>	○	○	
リュウキュウカラスバト <i>Columba jouyi</i>	○	○	(絶滅)
カラスバト <i>Columba janthina</i>	○	○	
リュウキュウコノハズク <i>Otus scops elegans</i>	○	○	
リュウキュウアオバズク <i>Ninox scutulata totogo</i>	○	○	
カワセミ <i>Alcedo atthis bengalensis</i>	○	○	
リュウキュウツバメ <i>Hirundo tahitica namiyei</i>	○	○	
リュウキュウヒヨドリ <i>Hypsipetes amaurotis pryeri</i>	○	○	
イソヒヨドリ <i>Monticola solitarius philippensis</i>	○	○	
ウゲイスの1亜種(?) <i>Cettia diphone ssp.? # 1</i>	○	○	
セッカ <i>Cisticola juncidis brunneiceps</i>	○	○	
リュウキュウメジロ <i>Zosterops japonica loochooensis</i>	○	○	
スズメ <i>Passer montanus saturatus</i>	○	○	
リュウキュウハシブトガラス <i>Corvus macrorhynchos connectens</i>	○	○	
アミハラ <i>Lonchura punctulata</i>	○	○	外来種
コウライキジ <i>Phasianus colchicus karpowi</i>		○	外来種
合計 26種	25	26	

<特記事項> # 1 : ウゲイスの亜種名は未確定

殖せず冬季の迷行個体（漂鳥）の確認と思われる。本種の観察記録はDouglasら（1996）の報告の中でも金田昌士氏により田名湿地で確認されている。したがって、本調査での確認は2例目の観察報告となるもので、しばしば漂鳥として飛来することが示唆される。

2) コウライキジ *Phasianus colchicus karpowi* (外来種)

本種は飼育されたいたものがご抜けして野生化したものと思われ、伊是名島のほぼ全域に分布しているものと思われる（写真10）。特に勢理客や諸見などの水田地域では見る機会が多くなった。

本来沖縄諸島に生息していないこうした大型の帰化鳥（外来種）の生態系への影響は、田中・嵩原（2003）によって、八重山諸島小浜島におけるインドクジャクの野生化による補食圧で爬虫類の激減が指摘されている。キジは主に植物種子や地上に落ちた果実などを食するが、時には昆虫食を行うとされることから、クジャクと同様に、伊是名島でもキジの定着により在来の昆虫類等の生息に大きな影響を及ぼしている可能性が高い。また、地上を徘徊する在来種のミフウズラと餌資源や生息地の競合が起こる可能性がある。つまり、キジの定着は在来の生態系を大きく変容させる危険性が高いものと思われる事から、本来の生態系の保護のためには早急に捕

獲等の具体的な方策が求められべきであろう。

現状不明種

1) アカヒゲ *Erithacus komadori*

新垣（1971）によって、伊平屋島から観察報告が見られるが、さえずりによる確認であり、観察場所等詳細な記述は見られない。また新垣（1971）は本種の追認の必要性を指摘しているが、その調査時期は1970年5月で、本種の繁殖時期にあたることから、当時本種の繁殖個体群があったことが示唆される。しかしながら、本種の生息地として考えられる腰岳や嘉陽岳などの森林地域は林齡がすすみ、当時に比べると生息環境は良好になっているものと思われるが、本種の生息確認はできなかった。本種が激減した理由はまったく不明で、生息状況も不明である。したがって、留鳥かどうか、あるいはかつて生息してたかどうかなども含めて今度とも継続した調査が望まれる。なお、本調査で実施した伊平屋島での聞き取り調査でも本種の生息を伺わせる資料は得られなかつた。

2) アマミヤマシギ *Scolopax mira*

沖縄野鳥研究会の比嘉邦昭氏（私信）により、1992年9月に伊平屋島の我喜屋周辺での観察記録が見られる。本調査では腰岳林道、田名湿地周辺、念頭平松周辺、我喜屋に所在する神社周辺など島全体を対象として夜間調査を実施したが、本種は確認されなかつた。したがって、留鳥として生息しているかどうかの確認や渡りの調査も含め今後継続した調査が望まれる。

3) シロガシラ *Pycnonotus sinensis*

新垣（1971）によると伊平屋島で1971年5月に3日間継続して5個体観察したことを報告している。比嘉（1976）によると本種が八重山諸島以外の沖縄島で初めて確認されたのは、1976年11月の沖縄島南部糸満市米須とされている。したがって、伊平屋島ではその5年前に確認されたことになる。

本種は留鳥として生息する八重山諸島産とは異なり、沖縄島では外来種と考えられており、1976年以来沖縄島南部から北部へと分布域を広げ、現在島北部の国頭地域でも普通に見られる。しかしながら、

本調査では伊平屋島で本種の生息を確認することができなかつたので、定着できなかつたものと思われる。

渡り鳥

夏鳥

夏鳥としては、アカショウビン、サンコウチョウ、ベニアジサシ、エリグロアジサシ、オオアジサシの5種が確認された。この中でオオアジサシは両島周辺で繁殖しているかどうかは未確認である。ここでは以下の2種についてその生息状況を述べる。

1) エリグロアジサシ *Sterna sumatrana*

伊平屋島では2000年8月の調査で、我喜屋集落から島尻集落に向かう海岸線に小岩礁や米崎などで数羽が見られた。おそらく、本種は両島周辺も他の島同様、ベニアジサシとともに夏鳥として飛来し、島周辺の無人島や岩礁などで繁殖したり、採餌に訪れているもの思われる。

2) ベニアジサシ *Sterna dougallii*

2000年8月の伊是名島での調査で内花海岸沿いで採餌する数個体を確認した。おそらく、島周辺にある小さな岩礁等で繁殖しているもの思われる。

旅鳥と冬鳥

夏の終わりである8月下旬から10月上旬頃に飛来し、さらに南下して越冬するために通過していく旅鳥と、越冬地が沖縄県内である冬鳥としての鳥類は、シギ・チドリ類やワシタカ類、ヒタキ類などに含まれる数多くの種類がある。ここでは明確に旅鳥と冬鳥を区分することは困難さがあるので、まとめてその主な鳥類について述べる。

1) アカハラダカ *Accipiter soloensis*

典型的な旅鳥で、伊平屋島では1999年9月27日～29日の現地調査の際、腰岳林道における9月29日の6時23分から7時50分の早朝の渡り調査で、合計658個体が確認された。したがって、沖縄島や宮古・八重山諸島と同様にアカハラダカの渡りも恒常に行われているもの思われる。

2) ブッポソウ

1999年9月28日に伊平屋島の腰岳林道で1個体が確認された。本種の越冬個体は確認されなかったことから、本種は他の島と同様、秋季に数少ない旅鳥として飛来し、通過していくものと思われる。

3) ヒバリ *Alauda arvensis* (写真11)

2003年11月21日に伊平屋島の田名水田で6羽を観察した。本種は数少ない冬鳥として県内各地に飛来することから、本島でも冬鳥としての飛来と思われる。

4) トラフズク *Asio otus*

1996年12月22日の田名湿地での夜間調査で1個体が観察され、写真撮影もされている（沖縄野鳥研究会編 2002）。本種は県内各地に希な冬鳥として飛来し、沖縄島や宮古・八重山諸島などでも記録されていることから、同様に冬鳥としての飛来である。

5) セイタカシギ *Himantopus himantopus*

両島ともに冬期に水田や湿地などの環境に少數が飛来し、越冬する（写真12）。本種は環境省編（2002）で絶滅危惧IB類にランクされている貴重種である。

表4 伊平屋島及び伊是名島で確認された貴重種

種名	ランク区分			生息状況
	天然記念物	環境省版 (2002)	沖縄県版 (1996)	
リュウキュウカラスバト		絶滅種	絶滅種	
サンカノゴイ		絶滅危惧 IB類	希少種	希な冬鳥
アマミヤマシギ 県指定		絶滅危惧 IB類	絶滅危惧	留鳥？
アアカアシシギ				冬鳥
セイタカシギ		絶滅危惧 IB類		冬鳥
チュウヒ		絶滅危惧 II類		希な冬鳥
ハヤブサ		絶滅危惧 II類		冬鳥
ツバメチドリ		絶滅危惧 II類		冬鳥
ブッポウソウ		絶滅危惧 II類		旅鳥
アカヒゲ		絶滅危惧 II類	希少種	留鳥？
チュウサギ		準絶滅危惧種	希少種	冬鳥
ミサゴ		準絶滅危惧種	危急種	冬鳥
ベニアジサシ		準絶滅危惧種	希少種	夏鳥
エリグロアジサシ		準絶滅危惧種	希少種	夏鳥
カラスバト 国指定		準絶滅危惧種	危急種	留鳥
アカモズ		準絶滅危惧種		冬鳥
ムラサキサギ			危急種	漂鳥
オシドリ			危急種	冬鳥
カツツブリ			希少種	留鳥
リュウキュウヨシゴイ			希少種	留鳥
リュウキュウヒクイナ			希少種	留鳥
ミフウズラ			希少種	留鳥
オオバン			希少種	冬鳥
シロチドリ			希少種	留鳥
オオアジサシ			希少種	夏鳥？
リュウキュウコノハズク			希少種	留鳥
カワセミ			希少種	留鳥
ヤツガシラ			希少種	旅鳥

6) ムクドリ *Sturnus cineraceus*

本種は通常秋季から冬期に飛来し、冬鳥として県内各地で見られる。しかしながら、一部の個体について繁殖活動を行うことが知られ、嵩原・原戸（1991）は伊江島における繁殖記録を報告している。今回の調査では2000年8月（夏季）の調査で野甫島において数個体が観察され、その観察時に小学校校舎の換気孔に入り出し、巣材を運んでいる様子が確認された。しかしながら、島に滞在する期間が短いため、その後の抱卵や育雛行動等一連の繁殖活動については未確認である。本種はおそらく野補島でも繁殖活動を行っている可能性が高いものと思われる。なお、本報告では育雛行動を確認していないので、本種を暫定的に冬鳥として扱った。

伊平屋島及び伊是名島における貴重種の確認と鳥類の生息地保全について

伊平屋島・伊是名島では絶滅種として日本固有種のリュウキュウカラスバトがあげられる。本種は森林地域に生息していたものと考えられているが、沖縄諸島では1928年までの採集記録が知られている（環境省編 2002）。したがって、それ以降観察されることがなく絶滅と考えられている。

これまで両島で観察された鳥類の中で絶滅のおそれのある保護すべき鳥類としては、国や県指定の天然記念物指定種や、環境省編（2002）により選定されている「日本の絶滅のおそれのある野生生物（改訂）鳥類編」や沖縄県自然保護課編（1996）によつて選定された「沖縄県における絶滅のおそれのある野生生物」の中に掲載されている貴重種としては、28種が確認された（表4）。したがって、これらの種が激減もしくは絶滅しないようその生息地の保全に努め、島における人為的な改変は極力さけるようすべきであろう。そうすることで、両島で確認されている他の鳥類を含め、われわれ人間側にとっても生活空間としての豊かな自然環境を保全・維持することができるものと思われる。また、こうした豊かな自然環境は、最近地域活性化の目玉として登場してきたエコミュージアムやエコツーリズムへの活用が期待できるとともに、学校教育における理科教育や環境教育等に活用できるものと思われる。

<引用文献>

- 新垣秀雄. 1971. 伊平屋島及び野補島の鳥類相. 鳥9号. 沖縄鳥類保護協会. p.20-29.
- Dougl M., H. Ikenaga, H. Iozawa, M. Shoyama, and K. Takehara. 1996. A check-list of the birds of Okinawa Prefecture with notes on recent status including hypothetica records. bull Okinawa Pref Mus. (22): 33-152.
- 比嘉邦昭. 1976. 私が見た沖縄島南部の珍鳥. 野鳥(41). 日本野鳥の会. p34.
- 比嘉邦昭. 2002. 伊是名島のRDB鳥類生息調査. 平成12年度沖縄県版レッドデータブック補足調査委託業務報告書. 沖縄県文化環境部自然保護課. 116-133.
- 樋口広芳. 1979. 島にすむ鳥の生態. サイエンス. 9(8).74-88.
- 伊平屋村役場編. 1994. '94伊平屋村村勢要覧. 73pp.
- 梶田学・真野徹・佐藤文男. 2002. 沖縄島に生息するウグイス *Cettia diphone* の二型について—多変量解析によるリュウキュウウグイスとダイトウウグイスの再評価—. 山階鳥類研究所研究報告 33:148-167.
- 木崎甲子郎. 1985. 琉球弧の地質誌. 沖縄タイムス. pp.85-91.
- Kuroda, NM. 1925. A contribution to the knowledge of the avifauna of the Riu Kiu Islands and the vicinity published by the author, Tokyo.
- 環境省自然環境局野生生物課. 2002. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—2鳥類. 自然環境研究センター, 東京.
- 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録 改訂第6版. 日本鳥学会, 帯広.
- Ogawa M. 1905. Notes on Mr. Alan Owston's collection of birds from the Islands lying between Kiushu and Formosa. Ann. Zool. Jap. V:175-232.
- 沖縄県環境保健部自然保護課(編). 1996. 沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータおきなわ—. 沖縄県環境保健部自然保護課, 那覇.
- 沖縄県環境保健部自然保護課(編). 1997. 特殊鳥類

- 生息環境調査 伊平屋島・久米島・南大東島・北大東島湿地編. 沖縄県環境保健部自然保護課, 那覇.
- 沖縄野鳥研究会(編). 1986. 沖縄県の野鳥. 沖縄野鳥研究会, 沖縄.
- 沖縄野鳥研究会(編). 2002. 沖縄の野鳥. 新報出版, 那覇.
- 嵩原建二・原戸鉄二郎 1996. 伊江島の鳥類相について. 文化課紀要第8号: 沖縄県教育委員会文化課. 51-69.
- 嵩原建二. 1993. 沖縄島北部地域(国頭村・大宜味村・東村)の鳥類について. 特殊鳥類等生息環境調査VI. 沖縄県環境保健部自然保護課. pp.59-92.
- 嵩原建二. 1994. リュウキュウオオコノズク *Otus bakkamoema pryeri* の地上巣について. すぐみち第11号. 今帰仁村立文化センター.
- 嵩原建二. 2002. 沖縄島で留鳥として生息する希少な3亜種の繁殖記録について. 沖縄県立博物館紀要(28) 1-11.
- 田中聰・嵩原建二. 2003. 先島諸島における野生化したクジャクの分布と現状について. 沖縄県立博物館紀要(29):19-24.

図版 I . 伊平屋島及び伊是名島の環境景観

(1) 伊平屋島



写真 1 . 伊平屋島の山並み
(北側からタンナ岳・後岳・アサ岳と続く)



写真 2 . 田名水田

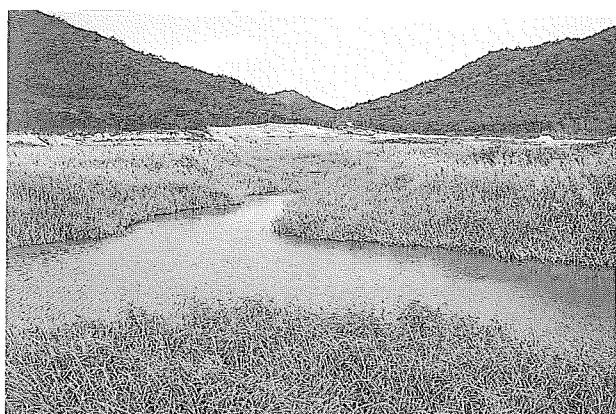


写真 3 . 田名湿地

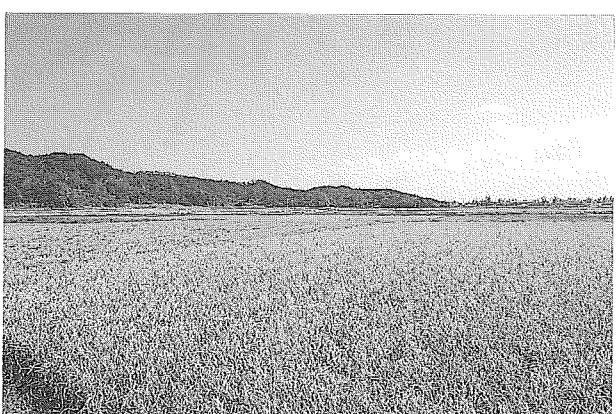


写真 4 . 我喜屋水田

(2) 伊是名島



写真 5 . 仲田港とチヂン山



写真 6 . 伊是名水田

図版Ⅱ. 伊平屋島・伊是名島で確認された鳥類



写真7. カラスバト



写真8. ズアカアオバト



写真9. ムラサキサギ



写真10. コウライキジ (外来種)

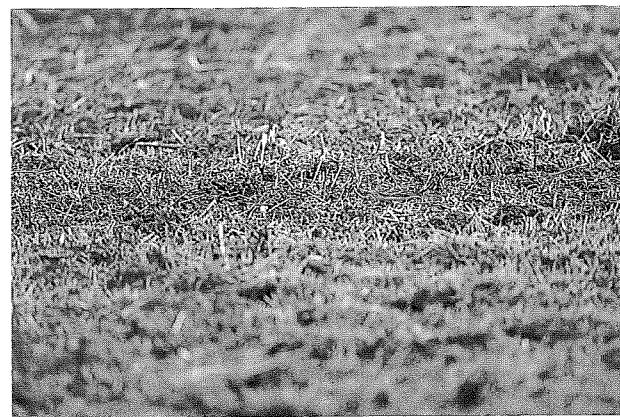


写真11. ヒバリ

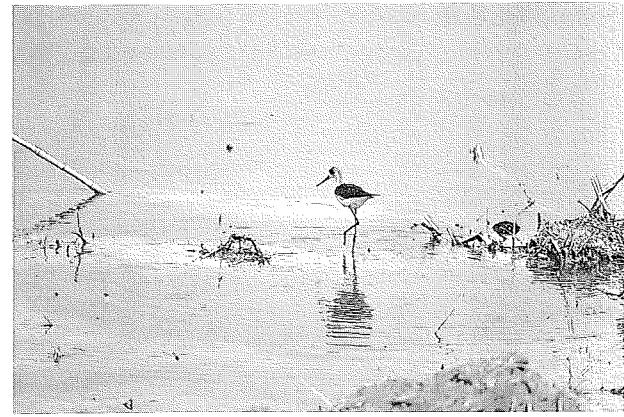


写真12. セイタカシギ

伊平屋島・伊是名島の鳥類目録(2004)

凡例 : R : 留鳥 S : 夏鳥 T : 旅鳥 W : 冬鳥 ST : 迷鳥 * : 初確認

和 名	学 名	生息現状・特記事項等	伊平屋	伊是名	文献等
	カイツブリ目 PODICIPEDIFORMES				
	カイツブリ科 PODICIPEDIDAE				
カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis poggei</i>	R	◎	◎	
1996/11/3	島尻西側ため池(1)				
1998/10/15	諸見水田(2)				
2003/11/22	田名湿地(2)				
	ミズナギドリ目 PROCELLARIFORMES				
	アホウドリ科 DIOMEDEIDAE				
コアホウドリ	<i>Diomedea immutabilis</i>	ST	◎		
1982/3/11	伊是名(1)			a	
	ペリカン目 PELECANIFORMES				
	ウ科 PHALACROCORACIDAE				
カワウ *	<i>Phalacrocorax carbo hanedae</i>	W			
1998/10/13~10/18	伊是名(1)			◎	
ウミウ *	<i>Phalacrocorax capillatus</i>		◎		
2004/1/1	伊平屋島北海岸				
	コウノトリ目 CICONIIFORMES				
	サギ科 ARDEIDAE				
サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i>	W(まれ)	◎		
1984/5/4	伊平屋(1)			a	
ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax nycticorax</i>	W,あるいはR	◎	◎	
1984/2/3	伊平屋(1)			a	
1996/11/3	2.田名川河口近く(1若)				
1984/11/23~11/25	伊平屋(2)			a	
1998/10/13~10/18	伊是名仲田の池				
ササゴイ	<i>Butorides striatus amurensis</i>	W	◎	◎	
1984/5/4	伊平屋			a	
1996/11/3	田名川河口近く(2)				
1998/10/13~10/18	伊是名				
アカガシラサギ	<i>Ardeola bacchus</i>	W(まれ)	◎	◎	e
1996/11/2	田名川河口近く(1)				
2001/4/27	勢理客(1)			c	
.リュウキュウヨシゴイ	<i>Ixobrychus cinnamomeus</i>	R	◎	◎	e
	伊是名	(名嘉私信)			
1996/11/3	田名湿地(1)				
アマサギ	<i>Bubulcus ibis coromandus</i>	T/W	◎	◎	e
1984/2/3-2/5	伊平屋			a	
1996/11/3	田名水田(1)				
1998/10/13~10/18	伊是名				
ダイサギ	<i>Ardea alba modesta</i>	W	◎	◎	e
1984/2/3-2/5	伊平屋島				
1996/11/3	田名水田(1)				

1996/11/3	田名湿地(1)				
1996/11/3	田名川河口近く(2)				
1998/10/13~10/18	伊是名				
チュウサギ	<i>Egretta intermedia intermedia</i>	W	◎	◎	e
1984/2/	伊平屋				a
1996/11/3	田名水田(1)				
1996/11/3	田名湿地(1)				
1998/10/13~10/18	伊是名				
コサギ	<i>Egretta garzetta garzetta</i>	W	◎	◎	e
1984/2/	伊平屋				a
1996/11/3	田名水田(1)				
1998/10/13~10/18	伊是名				
1998/10/13~10/18	伊是名				
クロサギ	<i>Egretta sacra sacra</i>	R	◎	◎	e
1996/11/3	田名川河口近く(2)				a
1998/10/13~10/18	伊是名				
アオサギ	<i>Ardea cinerea jouyi</i>	W	◎	◎	e
1984/5/	伊平屋				
1996/11/3	田名湿地(1)				
1996/11/3	田名川河口近く(2)				
1998/10/13~10/18	伊是名				
ムラサキサギ	<i>Ardea purpurea manilensis</i>	R(漂鳥:まれ)	◎		
1984/5/4	伊平屋				a
1996/12/22	伊平屋田名湿地				e
	ガンカンモ目 ANSERIFORMES				
	ガンカモ科 ANATIDAE				
コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus jankowskyi</i>	S T	◎		
1981/11/2	伊是名				a
オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	W	◎		
1984/11/23	伊平屋				a
2003/11/25	田名水田ため池(3)				
マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	W	◎	◎	
1984/5/4	伊平屋				a
1996/11/2	田名湿地(6)				
1998/10/15	伊是名畜産センター				
カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha zonorhyncha</i>	R	◎	◎	
1904/5/16	伊平屋	♀ 1			b
1984/5/4	伊平屋(4)	雛確認(繁殖)			a
1996/11/2	10.田名湿地				
1998/10/13~10/18	伊是名				
コガモ	<i>Anas crecca crecca</i>	W	◎	◎	
1984/2/3~2/5	伊平屋				a
1996/11/2	田名湿地(100)				
1998/10/13~10/18	伊是名				
.ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	W	◎	◎	e
1984/11/23~11/23	伊平屋				

1996/11/3	田名湿地(3)			
1998/10/13~10/18	伊是名			
オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>	W	◎	
1984/11/23~11/23	伊平屋			a
シマアジ	<i>Anas querquedula</i>	W	◎	◎
1998/10/13~10/18	伊是名ビーチ北方池			c
オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	W	◎	◎ e
1984/11/23~11/23	伊平屋			
1996/11/3	前岳ダム			
1998/10/13~10/18	伊是名			
ハシビロガモ *	<i>Anas clypeata</i>	W	◎	
1998/10/13~10/18	伊是名			
スズガモ	<i>Aythya marila</i>	W	◎	
2001/1/2	伊是名ビーチ北方池			c
ホシハジロ *	<i>Aythya ferina</i>	W	◎	
1998/2/9	伊是名			
キンクロハジロ *	<i>Aythya fuligula</i>	W	◎	
1984/11/23~11/25	伊平屋			
	タカ目 FALCONIFORMES			
	タカ科 ACCIPITRIDAE			
ミサゴ	<i>Pandion haliaetus haliaetus</i>	W	◎	◎
1996/11/3	1.前岳ダム			
1996/11/3	1.腰岳林道			
1984/11/23~11/25	伊平屋			
1998/10/15	伊是名内花			
アカハラダカ *	<i>Accipiter soloensis</i>	T	◎	
	伊平屋腰岳・我喜屋			
ツミ	<i>Accipitaer gularis gularis</i>	R	◎	◎ e
1996/11/3	野甫島南			
1984/11/23~11/25	伊平屋			
1998/10/15	伊是名勢理客			
オオノスリ *	<i>Buteo hemilasius</i>	S T	◎	
1999/9/28	伊平屋			
ケアシノスリ	<i>Buteo logopus menzbieri</i>	W	◎	
1984/2/3~2/5	伊平屋			a
サシバ	<i>Butastur indicus</i>	T/W	◎	◎ e
1996/11/3	腰岳林道			
1984/11/23~11/25	伊平屋			
1998/10/15	伊是名内花			
ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus cyaneus</i>	W	◎	
1985/11/2	伊平屋			a
チュウヒ *	<i>Circus spilonotus spilonotus</i>	W	◎	
2000/9/22	伊平屋田名湿地			
1999/9/29	伊平屋			
	ハヤブサ科 FALCONIDAE			
チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus interstinctus</i>		◎	◎ e

	1996/11/2	田名湿地	W			
	1998/10/13~10/18	伊是名				
ハヤブサ		<i>Falco peregrinus japonensis</i>		◎		
	2001/4/28	伊是名	W		c	
		キジ科 PHASIANIDAE				
コウライキジ		<i>Phasianus colchicus karpowi</i>	R(外来種)	◎		
	1998/10/13~10/18	伊是名				
		ツル目 GRUIFORMES				
		ミフウズラ科 TURNICIDAE				
ミフウズラ		<i>Turnix suscitator okinavensis</i>	R	◎	◎	
	1984/2/3~2/5	伊平屋			a	
	1998/10/13~10/18	伊是名				
		クイナ科 RALLIDAE				
リュウキュウヒクイナ		<i>Porzana fusca phaeopyga</i>	R	◎	◎	
	1996/12/22	田名湿地(1)				
	2001/4/28	伊是名畜産センター			c	
シロハラクイナ *		<i>Amaurornis phoenicurus chinensis</i>	R	◎	◎	
	2003/11/25	田名湿地(1、若鳥)				
	1998/10/13~10/18	伊是名				
バン		<i>Gallinula chloropus indica</i>	R	◎	◎	e
	1996/11/3	田名湿地				
	1996/11/3	田名川河口近く				
	1998/10/13~10/18	伊是名				
オオバン		<i>Fulica atra</i>	W	◎	e	
	1984/11/23	伊平屋			a	
	1996/11/3	4.田名湿地				
		チドリ目 CHRADRIIFORMES				
		チドリ科 CHARADRIIDAE				
コチドリ		<i>Charadrius dubius curonicus</i>	W	◎	◎	e
	1984/11/23	伊平屋			a	
	1996/11/3	8.田名水田				
	1998/10/13~10/18	伊是名				
シロチドリ		<i>Charadrius alexandrinus nihonensis</i>	R	◎	◎	e
	1904/5/15	伊平屋	♂1		b	
	1904/4,5	伊是名	♀1,♂3		b	
	1984/5/4	伊平屋			a	
	1996/11/3	前泊漁港				
	1996/11/3	野甫漁港				
	1998/10/13~10/18	伊是名				
メダイチドリ		<i>Charadrius mongolus stegmanni</i>	T/W	◎	◎	
	1984/11/23	伊平屋			a	
	1998/10/13~10/18	伊是名				
オオメダイチドリ		<i>Charadrius leschenaultii</i>	T		◎	
	1998/10/13~10/18	伊是名				
ムナグロ		<i>Pluvialis dominica fulva</i>	T/W	◎	◎	
	1984/2/3~2/5	伊平屋			a	

1998/10/13～10/18	伊是名			
ダイゼン *	<i>Pluvialis Squatarola</i>	W	◎	
1998/10/13～10/18	伊是名			
タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>		◎	◎
1984/2/3～2/5	伊平屋	W		a
2001/1/1	伊是名畜産センター			c
2003/11/25	伊平屋我喜屋水田(1)			
	シギ科 SCOLOPACIDAE			
キヨウジョシギ	<i>Arenaria interpres interpres</i>	T	◎	◎
1904/5/11	伊平屋	♀1、♂1		b
1984/3/3	伊平屋			
2001/1/1	伊是名ゴハ崎			c
トウネン *	<i>Calidris ruficollis</i>	W	◎	
1998/10/13～10/18	伊是名			
オジロトウネン *	<i>Calidris temminckii</i>		◎	
1998/10/13～10/18	伊是名	W		
ヒバリシギ *	<i>Calidris subminuta</i>		◎	◎
2000/5/4	伊平屋			
1998/10/13～10/18	伊是名			
ハマシギ	<i>Calidris alpina sakhalina</i>	W	◎	
1998/10/13～10/18	伊是名			
ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>		◎	
1998/10/13～10/18	伊是名	T		
アカアシシギ	<i>Tringa totanus ussuricensis</i>		◎	
1999/9/28	伊是名畜産センター	W		
2001/1/1	伊是名畜産センター			c
エリマキシギ *	<i>Philomachus pugnax</i>	T	◎	
2000/8/24	伊平屋			
アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	W	◎	◎
1984/5/4	伊平屋			a
1998/10/13～10/18	伊是名			
コアオアシシギ	<i>Tringa stagnatilis</i>	W	◎	
2001/4/27	伊是名勢理客			c
クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	W	◎	◎ e
1996/11/3	田名川河口近く			
1998/10/13～10/18	伊是名			
タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	W	◎	◎ e
1998/10/13～10/18	伊是名			
1999/9/28	伊是名			
2000/8/24	伊平屋			
キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>	T	◎	◎
1904/5/10,5/11	伊是名	♂1,♂1		b
1984/5/3	伊平屋			a
1998/10/13～10/18	伊是名			
イソシギ	<i>Triga hypoleucus</i>	W	◎	◎
1904/4/22,5/12	伊是名	♂1、♀1		b

1996/11/3	7.田名川河口近く				
1998/10/13~10/18	伊是名				
ソリハシシギ *	<i>Xenus cinerus</i>	T		◎	
1998/10/13~10/18	伊是名				
オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica baueri</i>			◎	
2001/1/1	伊是名ゴハ崎南西海岸	T/W		c	
ホウロクシギ				◎	
2001/1/1	伊是名打鼻南西海岸			c	
チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus variegatus</i>	T/W		◎	
1998/10/13~10/18	伊是名				
1999/9/28	伊是名				
ヤマシギ *	<i>Scolopax rusticola</i>		◎	◎	
2003/11/25	田名水田・念頭平松	W			
1998/10/13~10/18	伊是名				
アマミヤマシギ	<i>Scolopax mira</i>	R? (W)	◎		
	伊平屋島	(比嘉邦昭氏私信)			
タシギ	<i>Gallinago gallinago gallinago</i>	W	◎	◎	e
2003/11/25	伊平屋島				
1998/10/13~10/18	伊是名				
	セイタカシギ科 RECURVIROSTRIDAE				
セイタカシギ *	<i>Himantopus himantopus himantopus</i>	W	◎	◎	
1998/10/13~10/18	伊是名				
2003/11/23	伊平屋島田名水田				
	ツバメチドリ科				
ツバメチドリ *	<i>Glareola maldivarum</i>	T/W		◎	
2001/1/1	伊是名畜産センター				
	カモメ科 LARIDAE				
クロハラアジサシ *	<i>Sterna hybrida javanica</i>	T	◎		
2000/5/4	田名湿地				
1998/10/13~10/18	伊是名				
オオアジサシ *	<i>Thalasseus bergii crestatus</i>	S	◎		
1999/9/28	伊平屋				
ベニアジサシ *	<i>Sterna dougallii bangsi</i>	S	◎	◎	
1999/9/28	伊平屋島				
1999/9/29	伊是名				
エリグロアジサシ *	<i>Sterna sumatrana sumatrana</i>	S	◎		
2000/8/24	米崎海岸(2)				
コアジサシ *	<i>Sterna albifrons</i>		◎		
	伊平屋島北海岸(繁殖)				
	ハト目 COLUMBIFORMES				
	ハト科 COLUMBIDAE				
リュキュウキジバト	<i>Streptopelia orientalis stimpsoni</i>	R	◎	◎	e
2003/11/25	伊平屋腰岳・田名水田				
1998/10/13~10/18	伊是名				
リュキュウアカオバト *	<i>Treron formosae permagnus</i>		◎		
1998/10/13~10/18	伊是名				

2003/11/25	腰岳林道	雛 2			
1998/10/13~10/18	伊是名				
カラスバト	<i>Columba janthina</i>	R	◎	◎	
2003/11/25	腰岳林道				
2001/4/28	伊是名勢理客				c
リュウキュウカラスバト	<i>Columba janthina</i>	R (絶滅)	◎	◎	
1904/5/16	伊平屋♀ 1				b
1904/4,5,6	伊是名数個体				b
	ホトトギス目 CUCULIFORMES				
	ホトトギス科 CUCULIDAE				
カッコウ *	<i>Cuculus canorus telephonus</i>	T	◎		
2001/5/20	伊平屋				
ツツドリ *	<i>Cuculus saturatus</i>		◎		
2001/5/20	伊平屋島前岳・後岳				
ホトトギス *	<i>Cuculus poliocephalus poliocephalus</i>	T	◎		
1985/8/1	伊平屋				
	フクロウ目 STRIGIFORMES				
	フクロウ科 STRIGIDAE				
トラフズク	<i>Asio otus otus</i>	W	◎	e	
1996/12/7	田名湿地				g
リュウキュウコノハズク	<i>Otus scops elegans</i>		◎	◎	e
1996/11/2	伊平屋	R			
2001/4/28	伊是名ビーチキャンプ場				c
リュウキュウアオバズク	<i>Ninox scutulata totogo</i>	R	◎	◎	
1996/11/2	伊平屋	繁殖確認			
2001/4/28	伊是名打鼻				c
	ヨタカ目 CAPRIMULGIFORMES				
	ヨタカ科 CAPRIMULGDAE				
ヨタカ *	<i>Caprimulgus indicus</i>	W		◎	
1999/9/29	伊是名				
	アマツバメ目 APODIFORMES				
	アマツバメ科 APODIDAE				
アマツバメ *	<i>Apus pacificus kurodae</i>	T	◎		
	伊平屋				
	ブッポウソウ目 CORACTIFOMES				
	カワセミ科 ALCEDINIDAE				
ヤマショウビン *	<i>Halcyon pileata</i>	T	◎		
	西銘伸助氏私信				
アカショウビン	<i>Halcyon coromanda major</i>	S	◎	◎	
1904/4/28	伊是名	♂ 1			b
1904/5/17	伊平屋	♀ 1			b
カワセミ	<i>Alcedo atthis bengalensis</i>	R	◎	◎	e
1904/4/23,5/9	伊是名	♂ 3			b
1984/11/23~11/25	伊平屋				a
1996/11/3	2.田名湿地				
1996/11/3	1.田名川河口近く				

1998/10/13~10/18	伊是名			
	ブッポウソウ科 CORACIIDAE <i>Eurystomus orientalis calonyx</i>		◎	
ブッポウソウ *				
1999/9/28	伊平屋腰岳林道	T		
	ヤツガシラ科 UPUPIDAE <i>Upupa epops saturata</i>	T	◎	
ヤツガシラ				d
	伊平屋			
	スズメ目 PASSERIFORMES			
	ヒバリ科 ALAUDIDAE			
ヒバリ	<i>Alauda arvensis japonica</i>	W	◎	
1984/2/3-2/5	伊平屋島			a
2003/11/25	田名水田(5)			
	ツバメ科 HIRUNDINIDAE			
ショウドウツバメ *	<i>Riparia riparis ijimae</i>	T	◎	
1985/11/3	伊平屋			
ツバメ	<i>Hirundo rustica gutturalis</i>	T/W	◎	◎
1998/10/13~10/18	伊是名			
1999/9/28	伊平屋			
リュウキュウツバメ	<i>Hirundo tahitica namiyei</i>	R	◎	◎ e
2000/5/4	田名水田(8)			
1998/10/13~10/18	伊是名			
コシアカツバメ *	<i>Hirundo daurica</i>	T	◎	
1985/11/2~11/4	伊平屋			
イワツバメ *	<i>Delichon urbica dasypus</i>	T	◎	
1985/11/2~11/4	伊平屋			
	セキレイ科 MOTACILLIDAE			
ツメナガセキレイ *	<i>Motacilla flava</i>	T/W	◎	◎
1998/10/13~10/18	伊是名			
2000/5/4	田名水田(1)			
キセキレイ	<i>Motacilla cinerea robusta</i>	W	◎	◎ e
2003/11/25	田名水田(5)			
1998/10/13~10/18	伊是名			
ハクセキレイ	<i>Motacilla alba lugens</i>	W	◎	◎ e
1998/10/13~10/18	伊是名			
2003/11/25	田名水田(5)			
ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	W	◎	◎ e
2000/5/4	腰岳林道			
2001/4/27	伊是名大城山			c
セジロタヒバリ *	<i>Anthus gustavi gustavi</i>	W		◎
1998/10/13~10/18	伊是名			
マミジロタヒバリ	<i>Anthus novaeseelandiae sinensis</i>	W	◎	◎
1985/11/2	伊平屋			a
1998/10/13~10/18	伊是名			
ムネアカタヒバリ	<i>Anthus ceevinus</i>	W	◎	◎
1982/4/24	伊平屋			a
1998/10/13~10/18	伊是名			

	2001/4/28	伊是名畜産センター				c
タヒバリ		<i>Anthus spinoletta</i>	W	◎	◎	
	1984/2/3~2/5	伊平屋				a
	2001/4/28	伊是名畜産センター				c
		ヒヨドリ科 PYCNONOTIDAE				
シロガシラ		<i>Pycnonotus sinensis</i>	(未定着)	◎		d
	1971/5	伊平屋				
ヒヨドリ		<i>Hypsipetes amaurotis amaurotis</i>	W	◎	◎	
	1999/9/29	伊平屋腰岳林道(20+)				
	2001/1/1	伊是名内花				c
リュキュウヒヨドリ		<i>Hypsipetes amaurotis pryeri</i>	R	◎	◎	e
	1904/5/15,5/17	伊平屋	♂ 3			b
	1998/10/13~10/18	伊是名				
		モズ科 LANIIDAE				
シマアカモズ		<i>Lanius cristatus lucionensis</i>	W	◎		e
	2000/5/4	田名水田				
		ツグミ科 TURDINAE				
ホントウアカヒゲ		<i>Erithacus komadori namiyei</i>	R?(現状不明)	◎		d
	1971/5	伊平屋				
ジョウビタキ		<i>Phoenicurus auroreus auroreus</i>		◎	◎	e
	1984/11/23~11/25	伊平屋				
	2001/1/1	伊是名集落				c
ノゴマ		<i>Luscinia calliope</i>	W	◎		
	2001/1/1	伊是名勢理客・内花・打鼻他				c
ルリビタキ		<i>Tarsiger cynurus</i>	W	◎		
	1996/12/7	2(雌).腰岳林道				g
ノビタキ		<i>Saxicola torquata</i>	W	◎	◎	
	1985/11/3	伊平屋				a
	1996/12/7	1(雌).田名水田				
	1998/10/13~10/18	伊是名				
	2003/11/22	伊平屋				
イソヒヨドリ		<i>Monticola solitarius philippensis</i>	R	◎	◎	e
	1998/10/13~10/18	伊是名				
	2003/11/22	伊平屋				
シロハラ		<i>Turdus pallidus</i>	W	◎	◎	e
	1971/5	伊平屋				
	2003/11/22	伊平屋腰岳				
	2001/1/1-1/2	伊是名				c
アカハラ *		<i>Turdus chrysolaus</i>		◎		
		伊平屋				
ツグミ		<i>Turdus naummanni eunomus</i>	W	◎	◎	
	1996/11/3	2.米崎海岸				
	2001/1/3	伊是名				c
.トラングミ *		<i>Zoothera dauma</i>	W	◎		
		伊平屋				
		ウグイス科 SYLVIIINAE				

ヤブサメ *	<i>Cetta squameiceps</i>	W	◎		
	伊平屋				
ウグイス	<i>Cetta diphone cantans</i>	W	◎	◎	e
1996/12/22	伊平屋				
1999/9/29	伊是名				
ウグイスの1亜種	<i>Cettia diphone sp.</i>	R	◎	◎	
2003/11/22	伊平屋				
1998/10/13~10/18	伊是名				
オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceus orientalis</i>	W	◎		
1996/12/22	田名湿地(1)				e
セッカ	<i>Cisticola juncidis brunneiceps</i>	R	◎	◎	
1904/5/17	伊平屋	♀ 1			b
1904/5/20	伊是名	♂ 1			b
2003/11/22	伊平屋				
1998/10/13~10/18	伊是名				
キマユムシクイ *	<i>Phylloscopus inornatus inornatus</i>	W	◎	◎	
2003/11/25	腰岳林道				
1998/10/13~10/18	伊是名				
メボソムシクイ *	<i>Phylloscopus borealis</i>	W	◎	◎	
1985/11/3	伊平屋				
1996/12/22	腰岳林道				
1998/10/13~10/18	伊是名				
	ヒタキ科MUSCICAPIDAE				
エゾビタキ *	<i>Muscicapa griseisticta</i>	T	◎	◎	
1998/10/13~10/18	伊是名				
2000/5/4	伊平屋				
キビタキ	<i>Ficedula narcissina narcissina</i>	W	◎		e
1996/11/4	1.腰岳林道				
	カササギヒタキ亜科 MONARCHINAE				
リュウキュウサンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	S	◎	◎	
1904/5/15,5/17	伊平屋	♀, ♂			b
1904/5/20	伊是名	♀ 1			b
2001/4/28	伊是名診療所・勢理客・畜産センター				c
	メジロ科 ZOSTEROPIDAE				
リュウキュウメジロ	<i>Zosterops japonica loochooensis</i>	R			e
1904/5/17	伊平屋	♂ 1			b
	ホオジロ科 EMBERIZIDAE				
ホオアカ	<i>Emberiza fucata fucata</i>	W			e
1996/11/3	2.田名湿地				a
ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans elegans</i>	W			
1984/2/3~2/5	伊平屋				a
2003/11/22	我喜屋				
アオジ	<i>Emberiza spodocephala personata</i>	W		◎	e
2001/1/2	伊是名ビーチ北				
カシラダカ	<i>Emberiza rustica latifascia</i>	W	◎	◎	
	伊平屋				e

1998/10/13～10/18	伊是名				
	アトリ科 FRINGILLIDAE				
シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes japonicus</i>	W	◎	◎	e
1996/11/3	2.田名湿地				
1996/11/3	5.田名川河口近く				
2001/1/2	伊是名尚円王御庭公園				c
アトリ *	<i>Fringilla montifringilla</i>	W	◎		
1996/12/22	1(雌).腰岳林道				
マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	W	◎		
	伊平屋				e
オオカワラヒワ	<i>Carduelis sinica kawarahiwa</i>	W	◎		e
1996/11/3	16.田名湿地				
	ハタオリドリ科 PLOCEIDAE				
スズメ	<i>Passer montanus saturatus</i>	R	◎	◎	e
	ムクドリ科 STURNIDAE				
コムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i>	T	◎	◎	
1984/5/3	伊平屋				
2001/4/27	伊是名勢理客・内花				c
ムクドリ *	<i>Sturnus cineraceus</i>	W/R	◎		
1984/11/23	野甫小学校	営巣			
2000/5/5	伊平屋				
1996/11/3	2.米崎海岸				
	カラス科CORVIDAE				
ミヤマガラス	<i>Corvus frugilegus pastinator</i>	W	◎		f
1985/11/2～11/4	伊平屋				a
リュウキュウハシブトカラス	<i>Corvus macrorhynchos connectens</i>	R	◎	◎	
2001/4/28	伊是名大野山				c
	カエデチヨウ科				
アミハラ	<i>Lonchura punctulata</i>	R(外来種)	◎	◎	e
1996/11/3	4.田名湿地				
1998/10/13～10/18	伊是名				
1999/9/28	伊是名				
合計	150				

備考：引用文献

- a : Duglsら (1996)
- b : Ogawa (1905)
- c : 比嘉 (2002)
- d : 新垣 (1971)
- e : 沖縄県自然保護課編 (1997)
- f : 沖縄野鳥研究会 (1986)
- g : 沖縄野鳥研究会 (2002)